

これからの知財保護・活用戦略を考える

知的財産研究会

企業の取り組み事例、特許情報の分析、海外への技術移転、職務発明、営業秘密管理…etc. 多様なテーマを取りあげます

2018年度
参加者募集のご案内

2018年5月～2019年3月
全10回

本研究会は、企業の知財担当や研究開発部門の方、弁護士・弁理士等の専門家といった、知的財産権に関わる全ての方が対象です。年間を通じて10回の研究会を開催し、知財に携わる方にとって関心の高いテーマをさまざまな角度から取りあげてまいります。

変化の激しい経営環境のなか、知財にまつわる最新の情報を収集する場として、また、これからの有効な知財活用策とリスク回避策を考える場として、どうぞお役立てください。



主 催

公益社団法人 大阪府工業協会

大阪工業大学

(知的財産学部・大学院知的財産研究科)

後 援

近畿経済産業局 大阪府

2018年度 知的財産研究会 プログラム

<p>①</p> <p>2018年 5月29日(火) 16:30~18:30</p> <p>※開催時間が他の回と 異なります</p>	<p>『味の素流の価値創りと知財戦略』</p> <p><講演者> 角田 全功 氏 [味の素(株) 知的財産部 企画戦略グループ シニアマネージャー]</p> <p>オープンイノベーション等の手法を用いた新しい価値創りとそれを保護する知財戦略。成長領域である機能性食品の知財戦略。経済発展が著しいASEANにおける取り組み。さらには知的財産部の地位向上施策等に関する味の素社の取り組みを紹介します。</p>
<p>②</p> <p>6月19日(火) 18:15~20:15</p>	<p>『R&D戦略・出願戦略への知財情報分析の活用』</p> <p><講演者> 野崎 篤志 氏 [(株)イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント]</p> <p>知財情報の中でも特に特許情報について、先行技術調査・侵害防止調査だけではなく、新規事業開発や自社コア技術を用いた新規用途探索、販路開拓、さらには技術予測といった自社事業強化および発展のために戦略的に活用するための各種手法を俯瞰し、実際の分析事例を交えて解説します。</p>
<p>③</p> <p>7月17日(火) 18:15~20:15</p>	<p>『事業戦略と知財戦略 ―知財活用と知財評価の視点から―』</p> <p><講演者> 小林 誠 氏 [デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 知的財産グループ シニアヴァイスプレジデント]</p> <p>経営・法務・会計・税務の視点から、企業における知的財産の位置づけを明らかにし、事業戦略と知財戦略の関係性を紐解きながら解説します。また、ものづくりのための知財戦略から IoT 時代の新しい知財戦略への転換の必要性について、知財活用と知財評価の視点から事例を交えて紹介します。</p>
<p>④</p> <p>9月11日(火) 18:15~20:15</p>	<p>『アジアへの技術移転に伴う知財関連の留意点』</p> <p><講演者> 岡本 清秀 氏 [神戸大学客員教授/岡本IPマネジメント代表/元オムロン(株) 知的財産部長]</p> <p>中国には、許諾技術が完全でない場合や特許侵害が起きた場合に外国許諾者に賠償させる強行法規があります。このようにアジアには日本の交渉方法が通用しない独自の法規制が存在します。中国、インド、アジア諸国への技術移転・事業展開を成功させるための留意事項を解説します。</p>
<p>⑤</p> <p>10月9日(火) 18:15~20:15</p>	<p>『NISSHAにおける知財活動事例』</p> <p><講演者> 原 伸郎 氏 [NISSHA(株) 新製品開発室 知的財産部長]</p> <p>1929年に印刷会社として創業した当社は、近年、事業領域が印刷の範疇に収まらなくなってきたため、2017年に社名を日本写真印刷(株)からNISSHA(株)に変更しました。事業領域の拡大に伴って範囲が広がってきている当社の知的財産への取り組み事例を紹介します。</p>
<p>⑥</p> <p>11月20日(火) 18:15~20:15</p>	<p>『職務発明規程の整備』</p> <p><講演者> 弁護士・弁理士 飯島 歩 氏 [弁護士法人 イノベンティア 代表社員]</p> <p>平成 27 年に改正特許法 35 条が施行され、多くの企業が発明の原始取得制度を採用するとともに、報奨制度の見直しを行いました。そのサポートをしてきた経験に基づき、最近の規程整備の動向とこれから職務発明規程の作成または改訂を考えている企業のために留意点をお話しします。</p>
<p>⑦</p> <p>12月11日(火) 16:30~18:30</p> <p>※開催時間が他の回と 異なります</p>	<p>『日本の特許政策、50年間の進展とこれからの展開』</p> <p><講演者> 弁理士 石井 正 氏 [特許業務法人 深見特許事務所副会長/ 大阪工業大学名誉教授/元特許庁特許技監]</p> <p>1968年以降、我が国の特許政策は大きく進展して来ていますが、その政策転換の多くに関わってきた体験を踏まえ、政策検討現場からみた体験的回顧を整理し、ご紹介いたします。また今後の特許制度発展の方向についても考えていきます。</p>

- ◆ 講演者の所属・役職名は、この案内書を作成した時点でのものであり、開催日には変更となっている場合があります。
- ◆ 講演内容は、その時点での最新情報を盛り込むため、一部内容の追加や変更が生じる場合があります。

<p style="text-align: center;">8</p> <p style="text-align: center;">2019年 1月29日(火) 18:15～20:15</p>	<p style="text-align: center;">『知財を活かしたマーケティング』</p> <p><講演者> 弁理士 垣木 晴彦 氏〔アルカディア知財事務所 所長〕</p> <p>新商品開発の際にマーケティング視点で知財情報を活用すれば、売れそうな商品の開発に当たりをつけられます。権利化および侵害回避とは異なる知財活用の第3の視点であるマーケティングでの活かし方について解説します。</p>
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">2月19日(火) 18:15～20:15</p>	<p style="text-align: center;">『新明和工業における知財マネジメント』</p> <p><講演者> 中野 貴章 氏〔新明和工業(株) 技術部 知的財産グループ 技師〕</p> <p>新明和工業(株)は、祖業である航空機事業のほか特装車、産機システムなど多角化を図ってきました。急速に変化する事業環境への対応が求められる知財業務に対し、少人数の知的財産部門で広範囲の業務にあたっています。より効率的に知財をマネジメントしていく取り組み事例を紹介します。</p>
<p style="text-align: center;">10</p> <p style="text-align: center;">3月12日(火) 18:15～20:15</p>	<p style="text-align: center;">『不正競争防止法改正の動きとこれからの営業秘密管理』</p> <p><講演者> 三木 俊克 氏〔独立行政法人 工業所有権情報・研修館 (INPIT) 理事長・近畿統括本部長〕</p> <p>情報通信技術の高度化にともない、営業秘密管理は電子データをどう保護するかを重視すべき時代になりました。不正競争防止法改正の動きも睨みながら、技術・ノウハウ・アイデアを秘匿化し適切に管理していく方策について事例とともに紹介します。</p>

実施要領

■ 運営方法

- ・ 研究会は2時間とし、まずテーマに沿ったレクチャーを行い、そのあと質疑応答を含めたディスカッションを行います。
- ・ 大阪工業大学知的財産学部または大学院知的財産研究科の教授陣がコーディネータとして毎回同席し、参加者と講演者の橋渡しを行います。
- ・ 年間を通して固定メンバー制(最初の参加登録者)で運営しますが、開催日にご都合がつかない場合は代理出席も可能です。
- ・ 開催の概ね3週間前に、その日の日時、場所、テーマの確認メールを事務局からお送りします。返信として、出席・欠席・代理出席等のご回答とともに、そのテーマに対して期待する内容や特に関心のある点をお知らせください。それを講演者に伝え、極力参加者の要望に沿った内容となるように努めます。(参加申し込みの際、メールアドレスを必ずご記入ください)

■ 参加対象者

- ・ 企業の知的財産担当者、法務、経営企画、研究・開発部門の方
- ・ 研究機関や大学などの研究者・知財スタッフ
- ・ 弁理士・弁護士などの専門家
など、知財に関わっておられる方、ご関心のある方はぜひご参加ください。

■ 開催時間

午後6時15分～8時15分
ただし第1、7回は開始時刻を早め、終了後に参加者相互交流のための懇親会を行います。
→ 研究会 午後4時30分～6時30分 交流懇親会 午後6時30分～8時

■ 参加費

1年間(全10回)の参加費として 78,840円
(大阪府工業協会々員企業の方は、1名につき75,600円) ※いずれも消費税を含みます
*欠席された場合の返金はいたしません。代理の方がご出席ください。
*交流懇親会2回分の参加費を含んでいます。

問い合わせ、
申し込み先

≪運営事務局≫ 公益社団法人 大阪府工業協会 事業部

〒541-0054 大阪府中央区南本町2丁目6-12 サンマリオンNBFタワー4階
電話 06-6251-1138 / FAX 06-6245-9926 (申込書送付先)

会場のご案内

大阪府工業協会研修室

大阪市中央区南本町2-6-12 サンマリオンNBFタワー4階

地下鉄 御堂筋線「本町」駅 9番出口より徒歩約4分

堺筋線・中央線「堺筋本町」駅 8番出口より徒歩約3分

(当ビルに駐車場はございません)



参加申込方法

下欄の参加申込書を事務局(大阪府工業協会)宛てにFAXでお送りください。
(大阪府工業協会ホームページからお申し込みいただけます)
折返し、参加票および会場案内図、参加費請求書・振込用紙をお送りします。

2018年度「知的財産研究会」参加申込書

主催：公益社団法人 大阪府工業協会 / 大阪工業大学

申込日：2018年 月 日

参加者氏名	(ふりがな)		
会社名 (団体名)			
所属部署名 および役職名			
事業内容 取扱製品・商品			

所在地 (連絡先)	[〒 -]		
	電話		FAX
E-mail アドレス			
◆ 通信欄	…研究会に対するご要望、ご関心のある内容など、ご自由にお書きください		

※ご記入いただきました内容は、研究会の運営事務(請求書や案内の送付)に利用します。

また、参加者名簿を作成し参加者および講演者に配付します。(氏名、会社名、役職名、事業内容を一覧表にします)

お申込みはファックスでどうぞ… FAX 06-6245-9926 事務局 公益社団法人 大阪府工業協会